



梅雨入りとともに、あちこちでアジサイが咲き誇っています。教室では紺色のポロシャツが目立ち始めました。夏本番に向けて季節は確実に移ろっていくのを感じます。先週で10か月の留学期間を終えたWICHMANN Antonia(ヴィヒマン・アントニア)さん(昨年度「あゆみだより」第28号で紹介)のスピーチと、2週間または3週間の教育実習を終えた先輩6人からのメッセージを紹介します。

留学生・アントニアさんの日本語スピーチ (全文) (6月10日送別会)

送別会でアントニアさんは、全校生徒に向かって日本語でスピーチ。流暢な日本語は圧巻でした。

先生方、そして生徒の皆さん。まず、私の留学生活を支えてくださった全ての方々から感謝いたします。市立沼津高校に通うことが決まった時、私はとてもうれしく思いました。その頃、学校についてたくさん調べ、ここでの生活がどのようなものになるのかを想像していました。そして今、10か月が過ぎました。この学校で学ぶ機会をいただけたことに、とても感謝しています。

剣道部の皆さん、素晴らしい時間をありがとうございました。ここで学んだことを生かして、ドイツに帰って帰って剣道を続けたいと思っています。

この10か月の間に私は多くのことを学び、たくさんの経験を積み、そして数多くの素晴らしい思い出を作ることができました。中でも、この間の学校行事はとても楽しかったです。最後にはいろいろなことを学び、より多くのことを知るきっかけになりました。

滞在中、私は日本語の能力を伸ばしただけでなく、日本の文化や生活についても多くのことを学びました。これらの経験は、私の人生の中でずっと大切なものになると思います。

ドイツに帰国したら、多くの人に日本での経験について話したいと思っています。日本で経験したことや、この時間を特別なものにしてくれた皆さんについて伝えたいです。これからも日本語の勉強を続け、日本とのつながりを大切にしたいと思います。高校であと2年間過ごし、その後は大学に進学したいと考えています。将来の進路はまだはっきり決めていませんが、デザインや建築の方向に進みたいと思っています。

そして、私の中で決まったことがあります。それはいつか必ず日本に戻ってくるということです。旅行かもしれませんし、留学や別の形で長期間滞在するかもしれません。

この学校で過ごした時間は、私の将来に、大きな影響を与えてくれました。これからも、人生の大切な一部であり続けるでしょう。最後に、改めて学校の皆さんに感謝を伝えたいと思います。私はあたたかく迎えてくれて本当にありがとうございました。そして、この忘れることのできない時間をありがとうございました。また会えることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。



先輩6人、教育実習で母校に (~6月12日)

(日本史探究)

▼ 豊田永年私財法が定められたのはなぜか？



(世界史探究)

▼ フランスではなぜ1830年に革命が起きた後、わずか18年で再び革命が起こってしまったのだろうか？



(物理)

▼ なぜ2つの凸レンズを組み合わせたら正立実像ができるのか？



(保健)

▼ 結婚生活を「健康」という側面から見つめ直すことで、私たちがこれから送る生活のリアルや本当に大切なことについて考えよう!!



(保健)

▼ 中高年期に起こる変化と健康を支える社会の取組を理解しよう!!



(書道I)

▼ 九成宮醴泉銘らしく書くためにはどのようなことが必要だろうか？



6人それぞれの持ち味が活かされた研究授業でした。実習生の皆さん、お疲れ様でした◎ 次のページには、インタビューで答えてもらったコメントを掲載します。

在学中の思い出は？

- 3年の鷹峯祭
- 書道部で、目標にしていた全国大会に出れたことが一番の思い出です！書道部に入りたくて市沼に来たので嬉しかったです。
- 修学旅行でハウステンボスに行って脱出ゲームで最終ステージまで行った。
- 鷹峯祭のブロック別応援の練習をクラスの男女全員が全力で頑張ったことが一番の思い出です。暇さえあれば教室で練習していました。
- 私たちが高校生の時はコロナウイルスの影響で何もかもが規制されていました。鷹峯祭も声は出せないしマスクをしたまま開催しました。今の高校生の鷹峯祭よりもできないことはたくさんありましたが、それでもみんなと協力して勝ちを目指したり、ひとつの展示を作ったりしたあの期間は私にとって大切な思い出です。



教育実習をしていて感じたこと

- IT化が進んでタブレットの使用が活発になっていた
- 教育実習を通して、特に印象に残ったのは鷹峯祭です。私が在学していた頃はコロナ禍だったため、校内発表やカラー応援でも声を出すことができず、拍手で盛り上がりや表現したりマスクをしながら踊っていました。今回、生徒の皆さんが全力で声を出し、仲間と一緒に楽しみながら盛り上がる姿を見ることができ、とても嬉しくなりました。活気あふれる鷹峯祭は本当に魅力的で、私自身もたくさんの元気をもらいました。
- 高校生のパワーがすごい
- 探究の授業や1人1台iPadなど自分の在学時とはかなり異なっていて新鮮でした。また、その成果なのか授業中の生徒が非常に主体的であると感じました。服装、髪型や部活動における髪型の指定、完全下校などの規定が変わり、自由な校風になりつつあると感じました。
- 教員という仕事の楽しさややりがいをとて感じた3週間でした。最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、生徒たちが「先生おはよう」「先生聞いて」って話しかけてくれるたびに嬉しくて、体育の授業でアドバイスをした時に「はい」って元気よく返事をしてくれて、ゲームでは仲間とボールを繋いで点を決めたらみんなで喜んでその嬉しさを「勝ったよ!」「できたよ」って報告して共有してくれて、最終日には「寂しい」「2年生終わるまでいてください」って伝えてくれたりと、もちろん大変なことやしんどいなと思う時もありましたが、生徒たちのその一言や笑顔で全部が吹き飛ばぶくらい嬉しかったです。25HRのみんなと過ごす時間がとっても楽しくて忘れられない大切な思い出を作ることができました。

高校時代、これだけはやっておきたい！

- 学校行事を楽しむ
- "なんでもいいから夢中になれるものを見つける！大学では自由な時間が増える分、自分で何かを見つけたいとあっという間に時間が過ぎていきます。高校時代に何かに夢中になって努力した経験は、結果に関わらず必ず自分の力になります。そして将来、迷ったときや挑戦するときの大きな自信に繋がるはずですよ。
- 勉強
- 英語の勉強です。これからの時代は英語が話せることで様々な場面で有利になってきますし、大学に進学すると英語の授業に加え第二外国語の履修が必須になることもあります。言語の学習に慣れておく、苦手にならないというのは非常に大事だと思います。また部活動を精一杯頑張っておきたいと思えます。高校を卒業すると何かに一生懸命取り組むという経験が少なくなったように感じます。今は辛い、やめたいと思うことがあるかもしれませんが、後になって頑張っておきたなと思う時が必ず来ます。
- 自分のやりたいことには全力で取り組む

後輩へのメッセージ

- 部活動や受験勉強などやるのがいっぱいあり大変かと思いますが、良い思い出を作って楽しい学校生活を送ってください。
- 実習生として母校に戻り、皆さんの姿からたくさんの元気をもらいました。授業で真剣に考える姿、友達と楽しそうに過ごす姿、行事に全力で取り組み、輝く姿を見て、高校生活のかけがえのなさを改めて感じました。ぜひ、今しかできない経験や出会いを大切にしながら、自分らしく充実した高校生活を送ってください！
- 何事も楽しんだほうがいい。
- 高校時代は長いようであるという間です。勉強も部活動も友達との時間もすべて大切にしてください。
- 大学生になったら社会人になったら今よりももっと自由に生きることができるし、人との関わりや世界も広がるので楽しいことはたくさんあると思います。でも、高校生生の時の楽しさって高校生でしか味わえないなと大学生になって実際に高校生と過ごして思いました。文化祭や体育祭は大学になると開催はしてるけど全員が参加するものではありません。部活動だって入らなくてもいいし授業だって自分の意思で自由に休めます。だからこそ毎日学校行って授業して、部活やって友達と話して帰ったり寄り道してご飯食べたり、The青春って高校生のうちしか味わえないなと思います。だからこそ、自分の好きなことややりたいことには全力で取り組んで、高校生活後悔なく楽しんで欲しいです！

【中等部】第45回沼津市わたしの主張大会（6月13日）



市内中学校（19校）の代表者が、自分自身と向き合う中で、または周囲の人や社会との関わりの中で考えたこと、未来への希望を、自らの言葉で発表しました。

本校代表の吉橋明希さん（中等部3年生）の主張は「ひいおばあちゃんの拍手」。自身の経験に基づき、実に堂々と落ち着いた話しぶりでした。練習した通りに気持ちよくできて、よい経験になった！と語ってくれました。